

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 24-009

PDCA	事務事業名	公園管理事業	部課等名	建設部 都市計画課 公園 緑地担当	担当	桑山	
					内線等	448	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち					
		節： 第3節 うるおい空間の形成					
		基本施策： 1. 公園・緑化・親水空間					
		単位施策： (1) 公園・緑地の整備					
	根拠法令等	都市計画法					
	対象・目的	既設公園・緑地等の適正な管理を行うことで、利用者の安全を確保する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	専門的な知識や技術力を要する樹木剪定や遊具保守点検については専門業者へ委託し、規模の大きな公園においては半田市シルバー人材センターへ委託することで手厚い管理を行う。また、市民協働の観点から草刈りやゴミ拾い・トイレ清掃を地元自治区に委託し、地域の公園への愛着を育むとともに適切な維持管理に努める。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		H30年度	R1年度	R2年度	単位
		①公園管理委託による樹木剪定・草刈り		119	119	119	箇所
		②遊具保守点検委託による遊具点検		94	95	95	箇所
		事業費		131,209	141,469	136,713	千円
		人件費		6,871	6,831	6,172	千円
		総事業費		138,080	148,300	142,885	千円
		活動単位当たりのコスト		H30年度	R1年度	R2年度	単位
	①公園面積1㎡当りの管理及び整備コスト(遊具点検・園内清掃等)		144	165	149	円	
	成 果	成果指標		H30年度	R1年度	R2年度	単位
		①管理瑕疵に伴う事故件数	実績値	0	0	0	件
			目標値	0	0	0	
		実績値					
		目標値					
		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	B					
		遊具については、専門業者による点検結果等を踏まえ計画的に改修したことにより、事故なく、利用者の安全を確保することができた。また、職員がパトロールを行うことにより、遊具の危険箇所及び樹木の繁茂を早期に発見することができ、迅速に修繕等の対応をすることができた。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	現状維持				
今後も公園利用者が安全かつ快適に使用できるよう、職員や樹木管理委託業者による定期パトロールを実施し、適切な公園の管理に努めていく。							
令和3年度の目標		成果指標		目標値	単位		
		①管理瑕疵に伴う事故件数		0	件		